

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 972 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.82 Sくん（令和2年3月卒・航海専攻・現20歳） 遠洋まぐろはえ縄漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ 早朝から投縄し、投縄から約 4 時間後に揚縄を開始。揚縄が終わりに近づくと、次の投縄担当は投縄に備え休憩に入る。揚縄が終わると投縄担当以外は休憩となる。

Q 大変な事は？

- ・ 覚えることが多いこと。仕事のスピードに付いていくこと。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 外国人船員と話すこと。
- ・ 揚縄中に珍しい魚が釣れること。また、それを調理して食べること。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 乗船実習

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ ロープワーク、刺し継ぎ、ブランチ繰り。
- ・ 授業中の先生の話が現場で役に立っています。

Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 学園で技術や漁師の心得を学んだので、現場にスムーズに入っていたこと。また、自分の未熟な部分や身に付けなければならない技術が明確になったこと。

☆ 在學生にアドバイス

- ・ 辛いことがあっても、自分の糧（かて）になるので頑張ってください。

（令和3年4月5日）